

損傷の補修方法

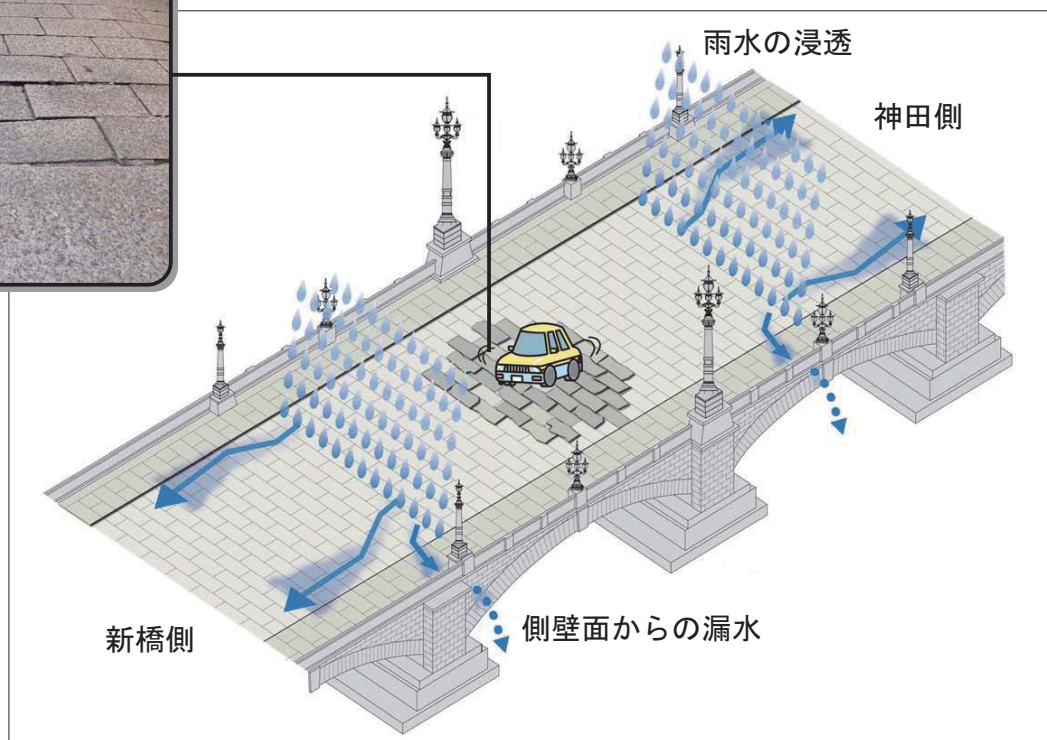
損傷の調査及び耐震性の分析結果から、橋としては十分な耐震性を有していることがわかったため、現在の損傷を補修すれば、今後も長く使えることがわかりました。

そこで、橋の表面の石を全て取りはずし、その下の部分の補修と水がしみ込まないようにするための防水をしつかり行い、もう一度、石を平らに敷きなおすことにしました。

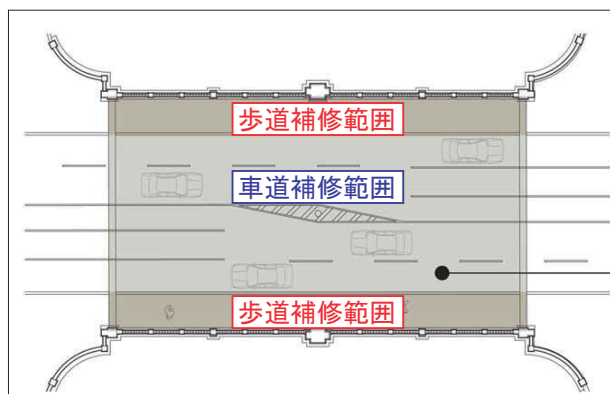
この補修工事は、2010（平成22）年3月から2011（平成23）年3月にかけて行われました。



▲表面のでこぼこ



▲雨水などのしみ込みイメージ



▲補修工事の進め方

